



## 地球温暖化防止コミュニケーター養成セミナー 誕生！

2月11日（火・祝）、学生ISO委員会、緑化研究会 three trees、環境サークル G-amet の学生6名と副統括環境管理責任者の村瀬哲磨応用生物科学部教授、施設環境部の職員2名の計9名が本学のサテライトキャンパスで行われた「地球温暖化防止コミュニケーター養成セミナー」に参加してきました。

このセミナーを受講し確認テストに合格すると、地球温暖化防止コミュニケーターとして活動ができます。

今回のセミナーでは参加者全員が合格し、地球温暖化防止コミュニケーターとなりました。

### 【セミナープログラム】（環境省主催）

- ・ 地球温暖化の重要ポイント
- ・ 一般向けプログラムの解説
- ・ 子供向けプログラムの解説
- ・ 発声練習
- ・ グループワーク
- ・ 確認テスト



### グループワーク：「生活ボックスの使い方について」

岐阜大生を含むグループが代表となり、参加者の前で模擬授業を行いました。

### 地球温暖化防止コミュニケーターとは

地球温暖化対策の最新情報などを一般の方々に広く伝える‘伝え手’です。現在、気象予報士、自治体職員、教員、学生など全国で約2,600名（2018年3月時点）が活躍しています。（<https://ondankataisaku.env.go.jp/communicator/>）

また、コミュニケーターの登録には「18歳以上」で「気候変動に対し関心を持っている事」以外特別な資格、条件はありません。

本学は環境ユニバーシティとして、様々な環境保全活動を行っています。